



おか たか ひろ
岡 隆 裕

生 年 月 1982年11月兵庫県生まれ
最終学歴 2007年京都大学大学院
工学研究科建築学専攻修了
●担当した主なプロジェクト
2013年 六甲学院中学校・高等学校
本館
2014年 釜山外国語大学
南山洞キャンパス
2015年 新居浜市総合文化施設・美
術館 あかがねミュージアム
2015年 ダイキン工業 テクノロジー・
イノベーションセンター

■青年技術者のことば

これまで建築の設計を通して希求してきたことは、アクティビティを手掛りに「人」の経験を豊かにすること、場の歴史と、その建築が求められた文脈に敬意を払い、「人」が得る「価値」を最大化することです。

空間がどう使われるか。それを想像して図面に思いを込める設計者にとって、ユーザーとの対話は欠かせないものだと考えています。これまで実際にその建築・空間を使う「人」と、多くの対話を重ねてきました。そこで深く洞察し、寄り添い、ユーザーの思い通りの経験、時には思ってもみなかった「豊か」な経験・価値を提供する事こそ、設計者の使命であると信じています。

そして長い時を経て残り続けるからこそ、建築は流行り廃るものであってはなりません。その土地で、求められた文脈の中で、どういう姿で立ち現れるべきか。決して回答が一つではない設計行為において、その結果は、建築主やユーザーの得る「価値」をどれだけ最大化できたか、その建築が豊かなアクティビティの受け皿として、どれだけ生き永え続けたか、に委ねられることと思います。建築は時に社会に大きなインパクトを与えます。それは建築と空間・時間を共にする一人一人の「人」が紡ぐ、一つ一つのストーリーが起こすものだとし、設計者として一人でも多くの人の経験を「豊か」にし、共感を得る建築を実現していくため、日々、目の前の設計に専心し、研鑽を続けていく所存です。

■すいせん者

岡田泰典
(株)日建設計 設計部門 設計部長

六甲学院中学校・高等学校 本館

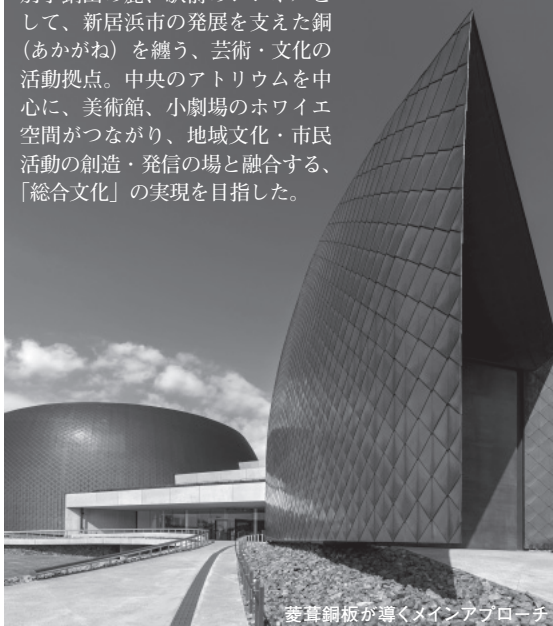
創立75周年を機に建て替えられた本館は、六甲山の山並みを背に瀬戸内海を見渡す、旧本館と同じ佇まいで急坂の上に屹立する。シンメトリーで真っ直ぐな片廊下の空間構成や、生徒自らが清掃で磨き上げる人造大理石研出、木造作等の素材を継承しつつ、最新の学習環境と環境技術を備えた、時代を超えて「伝統を未来に受け継ぐ」学び舎とした。



六甲の大自然に抱かれた、質実な南面ファサード

新居浜市総合文化施設・美術館 あかがねミュージアム

別子銅山の麓、駅前のシンボルとして、新居浜市の発展を支えた銅（あかがね）を纏う、芸術・文化の活動拠点。中央のアトリウムを中心に、美術館、小劇場のホワイエ空間がつながり、地域文化・市民活動の創造・発信の場と融合する、「総合文化」の実現を目指した。



菱葺銅板が導くメインアプローチ



屋内のステージ、カフェと連続する、屋外ステージ



エントランスアトリウム

ダイキン工業 テクノロジー・イノベーションセンター

国内に分散していた開発技術者を集約した、技術イノベーションのための研究所。1,500㎡×2層、メガフロアのワンルームワークプレイスと、社外とのコラボレーション空間「フューチャーラボ」「知の森」を持つ2万㎡のオフィスエリアは、2.8万㎡に及ぶフレキシブルな実験エリアと一体となって社内外協創を加速する。



オフィスエリアと実験エリア、機能の異なるファサードを統合する丸パイプ庇



中央のワイガヤステージから上下の両側30mに展開するワークプレイス